

作新学院大学 ティーチング・ポートフォリオ

| 所属 | 氏名 | 作成日 |
|---------------------|-------|-----------|
| 人間文化学部心理コミュニケーション学科 | 田所 撰寿 | 2024年5月1日 |

【責務】(何をおこなっているのか/担当授業科目その他)

前期

発達心理学 I 学部2学科2クラス

心理演習 I 学部1学科1クラス

心理実習B I 学部1学科1クラス

卒論演習 I 学部2学科2クラス

臨床心理面接特論 I (心理支援に関する理論) I 研究科1クラス

臨床心理査定演習 I (心理的アセスメント) I 研究科1クラス

臨床心理実習 I (心理実践実習) I 研究科2クラス

研究指導演習 II I 研究科1クラス

大学院附属臨床心理センターにおける心理臨床活動

大学院附属臨床心理センターにおいて相談研修員(大学院生)に対する指導(スーパービジョン)

後期

心理学的支援法 I 学部1学科1クラス

専門演習 I 学部2学科4クラス

心理実習A I 学部1学科1クラス

卒論指導演習 I 学部2学科2クラス

卒業論文 I 学部2学科2クラス

発達心理学特論 I 研究科1クラス

臨床心理面接特論 II I 研究科1クラス

臨床心理実習 II I 研究科2クラス

研究指導演習 I I 研究科1クラス

研究指導演習 II I 研究科1クラス

修士論文 I 研究科1クラス

大学院附属臨床心理センターにおける心理臨床活動

大学院附属臨床心理センターにおいて相談研修員(大学院生)に対する指導(スーパービジョン)

【理念】(どのような考えに基づいて行っているか)

社会に役立つ職業人として、効果的かつ倫理的な人材を育成したいと考えています。

【方法】(その考えをどうやって実現しているか)

学部生に対しては、科学である心理学について、社会人として役立つ知識やコンピテンシーを獲得できるように授業や演習を行っています。特に心理臨床実践の知見から、学生がイメージしやすいような具体的な事例を交えての授業を心がけています。

大学院生に対しては、心理臨床の実践家として、知識・能力・経験を身につけることができるように授業や演習を行っています。また、大学院附属臨床心理センターにて実際の心理臨床活動を行うことを通し、臨床家としての心構えや覚悟を身に着けられるように指導しています。

【成果】(その方法を行った結果、どうなったか、どうだったか。自身の感想・具体的な成果物・学生からのコメントなど)

学部生としては4年間の学びの集大成として、卒業論文を完成させます。それぞれの自分が興味を持ったテーマについて、授業で学んだこと、自分で調べたこと、仲間と議論したことなどを通してまとめていきます。

大学院生は卒業後にほとんどの学生が心理職の専門家としての道を歩き始めます。それぞれ心理臨床家として、大学院時代に学んだことを活かして、地域社会に貢献しています。卒業した後も引き続き、心理臨床家としての学びを続けていってほしいと願っています。

【目標】(今後どうするか)

心理学やカウンセリングをどのように普段の生活に活かすことができるのか、それをどのように学部生に教育できるのかについて日々考えています。

効果的かつ倫理的な活動を行うことのできる心理専門職の育成を目指し、トレーニングや教育のあり方について考えていきたいと思えます。